Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 14

(会社名 · 団体名等) 特定非営利活動法人 四季の会

	(住 所) 〒899-5411 鹿児島県姶良市鍋倉 669 番地
格先等 絡先等	(担当部署等)
	(電話番号等) TEL: 0995-73-3446 FAX: 0995-73-3447 (URL) http://www.shikinokai.com/

		T		<u> </u>			
	取組の名称	間伐材利用に	よる「環境	づくり・森づく	り・人づくり」		
					里念に,森林整備に。		
					森林環境教育によ	- • • • • • •	
	取組の概要	づくりを実施して	こいる。特に、森	林環境教育活動に	おいては,間伐材を	様々な活用材料	
		にして,広く県民に森林の大切さを啓発し,次世代へ豊かな自然を引継ぐための活動を					
		おこなってきた。					
	双組のきっかけ	森林環境教育活	動において、 和	森林や間伐材を使っ	たものにふれる直接	鉢験を通して ,	
取				• - /	の持つ多面的機能や		
7				5理解と関心を深め、	てもらうために, 森	林環境教育の充	
		実を計ることとし		_			
					• 本立て • 鍋敷きづ	くり等の木工教	
				の材料としている。			
					フリエーション活動		
		丸太切重量当て競	静・間伐材の積	責み木競争・間伐材を	を割切りにしたボー	ルで倒す間伐材	
		ボーリング等, 森の	の運動会を開催	し間伐材とふれある	う。さらに,間伐伐	採現場を県民に	
取	マ組内容・特徴	見学させ、現代の	林業のあり方を	と周知するためのチェ	ェーンソーによる伐	:倒作業, 高性能	
		林業機械によるを	5払い・玉切り・	· 集材 · 集積等林業の	の実情にふれあい,:	木材市場の見学	
		体験等も実施。					
		このような直接	めな体験を通し	して,循環型資源を育	育む地域の自然環境	である森林につ	
				会の形成者として持	持続的な社会の文化:	を担う人材育成	
		(人づくり)につな					
					林組合 OB)で森林整		
		ている。森林整備班員の中から緑の雇用制度によるフォレストリーダーの研修を終了					
		し、育成指導者として4名が育っている。また、緑の雇用制度で育成してきた班員(人					
		づくり)も今では数多くの資格を取得しており、高性能林業機械から小型林業機械を駆					
実行体制•		使しながら、小規模な作業から大規模作業まで実施している。					
	安全対策等	安全対策としては、毎月理事長を筆頭に指導者が安全パトロールを行うとともに、月					
	他団体との連携	初めには班員全員を集めた安全対策会議も行っている。また林業木材製造業労働災害防					
1	伏況を含む)	止協会鹿児島県支部にも属し、年数回の講師の現場指導や安全対策講義を受けている。 労働保険のほか、民間の保険(2 か所)にも加入し、三重の保険に対策をとっている。					
			, ,			· - -	
					マッフを動員し安全	–	
					な場所の確保、その	ほか各沽動時に	
	Г			の安全対策を計って		(4.47	
		(年度)	(面積・ha)	(搬出材積・m³)	(路網整備 • m) •	(金額・千円)	
	除間伐実績	平成23年度	20.00	672	0	4, 540	
		平成 24 年度	51.34	3, 122	0	25, 360	
実 績		平成 25 年度	74. 57	2, 975	700	34, 223	
		平成 26 年度	77. 16	5, 424	3, 720	45, 759	
		平成 27 年度	88. 55	5, 482	6, 620	62, 446	

平成 28 年度

平成 29 年度

92.85

86.70

6,061

6, 490

9, 030

21, 965

77, 888

107, 084

間伐実践·環境教育部門

製品	品等の写真、図表	
取組による効果等		適正な間伐により、地域の森林づくりおよびCO2削減による地球温暖化防止という環境づくりにも少なからず貢献できていると考える。間伐に取り組むことで、森林の大切さ、木材を有効利用することの大切さを改めて実感する。森林は、豊かな水の供給や、土砂災害の防止、CO2を吸収しO2を供給するなど自然環境に大きな役割を果たしている。間伐材を利用した木工教室や森の運動会、間伐伐採現場での体験学習により、間伐の重要性や必要性をわかりやすく楽しく、より多くの世代につたえることができる。この取組が、環境づくり・森づくり・人づくりの活動理念をさらに強固なものとし、次世代への豊かな環境の引継ぎにつながるものと確信しており、今後も続けていきたい。
	1 情性数台	林業労働体験事業(下刈り・つる切・除間伐体験),間伐材および竹材を使った木・竹エクラフト教室,森林ピック(モリリンピック)と称する間伐材を使った競技(丸太切り&重量当て,間伐材の積み木,間伐材のボーリングなど),森林・林業体験バスツアーの実施(間伐現場での伐採・集積見学体験,木材市場・CLT工場・おが屑工場・2×4工場等の見学学習)。年20回ほど実施